

特集 参議院議員 林久美子 子育て政策について

私自身、政治の世界に入ったきっかけは「子育て」。子どもを産み、仕事を続けようとしても、認可保育所には入れない。「子どもが小さいのに仕事をするなんて!」という偏見。こうした社会を変えていきたい。地盤も看板もカバンもないけれど、私のように普通の人間が政治の世界に入ること、もしかしたら、社会の息苦しさや制度的不備、偏見を変えることができるのではないかと。こう思ったのでした。

以降、私は「子ども・子育て」をライフワークとしてきました。「チルドレン・ファースト(子ども第一)」を政策の柱に掲げ、核家族化が進む中で、介護などがそうであるように、子育てについても「社会全体で」支えていくべきだと取り組んできました。民主党政権時には文部科学大臣政務官として「子ども・子育て支援新制度」に関わり、幼稚園と保育所の縦割りを乗り越えるための政策、学童保育の入所年齢の引き上げ(「おおむね10歳未満」という規定の撤廃)などを実現することができました。そして今、保育士の皆様の待遇改善などをさらに進めることで待機児童を解消し、誰もが安心して仕事と子育てを



街頭で活動する林久美子参議院議員

両立できる社会をつくろうと訴えています。

そのためには様々な対策が必要です。日本は諸外国と比べて保育所の整備、児童手当、育児休業給付など「家族関係社会支出」が少なく、対GDPでわずか1.25%(フランスは2.9%、スウェーデンは3.5%)に留まっています。未来を担う子どもたちに1000兆円を超える借金をつけまわすのではなく、子どもたちの育ちにこそ投資をする政治を実現していきたいと思っています。

18歳選挙権 若者が政治を変える!!

2016年6月19日に改正公職選挙法施行
約240万人が新たに有権者に!



2015年6月17日に改正公職選挙法が成立し、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられました(6月19日公布)。同法は公布から1年経過した2016年6月19日に施行され、施行後初めて行われる国政選挙(衆議院議員の総選挙または参議院議員の通常選挙)の公示日以後に公示・告示される選挙から、満18歳以上の者が選挙権を有することになります。

選挙権年齢の引下げは1945年に「25歳以上」から「20歳以上」に引き下げられて以来、70年ぶりです。きっかけは、2007年に成立した、憲法改正の具体的な手続きを定めた国民投票法です。その審議において民主党等が投票権年齢を18歳以上とすることを求め、その検討が附則に盛り込まれました。

そして、2014年6月に投票権年齢を18歳以上とする改正国民投票法が成立、選挙権年齢についても附則で「必要な法制上の措置を講ずる」とされ、2015年6月、改正公職選挙法が成立しました。

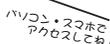
現時点において、国政選挙で18歳有権者が最初に誕生するのは2016年の第24回参議院議員選挙の予定です。なお、第24回参議院議員選挙の投票日が2016年7月10日となった場合、選挙権は18歳の誕生日前日に取得するため、1998年7月11日生まれまで投票することになります。

ホームページ・フェイスブックで日々、最新情報を更新しています!ぜひご覧下さい!!



連合滋賀

検索



連合滋賀ホームページ

<http://shiga.jtuc-rengo.jp>



連合滋賀 facebook ページ

いいね! を押して登録!



連合滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2016年5月25日
連合滋賀 第268号
大津市松本2丁目10-6
電話077-523-0500
発行・山田 清
編集・竹内 真也
(定価 1部60円)
印刷 ユメディア株式会社

支え合い助けあう 心をひとつに力を合わせ、暮らしの底上げを実現しよう! 第87回滋賀県労働者統一メーデー 県内4会場に5,600名が結集

連合滋賀と滋賀県労働者福祉協議会は「支え合い助けあう 心をひとつに力を合わせ、暮らしの底上げを実現しよう!」をメインスローガンに、第87回滋賀県労働者統一メーデーを開催しました。

メーデー中央集会は、4月29日、大津市なぎさ公園おまつり広場で、子どもや家族連れなど組合員約1000人が参加し開催されました。

式典では、開催地である第1区地区メーデー実行委員会の原田康実行委員長と中央集会の主催者を代表して、連合滋賀の山田清会長が開会挨拶を行いました。

また、三日月大造滋賀県知事、越直美大津市長、田島一成民進党滋賀県連代表、小坂淑子社民党滋賀県連代表、川端達夫衆議院議員、林久美子参議院議員をはじめ友誼団体、事業団体から多くの来賓の方々がご臨席され、各界を代表してそれぞれの立場でご挨拶いただきました。

その後、メーデースローガンを確認し、メーデー宣言および、暮らしの底上げ実現に向けた特別決議の採択を行いガンパロウ三唱で式典を終えました。

最後には、会場から大津駅前まで参加者全員でデモ行進を行い、地域に対して暮らしの底上げ実現の重要性を訴えました。

また熊本県を震源とする大地震に際し、県内4会場の各会場にて、被災された方々、被災各県の義援金を募るため「熊本県を中心とする九州地震支援カンパ」の募金を緊急で実施し、参加者の皆さまから合計145,626円の募金をいただきました。



開会挨拶をする連合滋賀山田清会長



第87回滋賀県労働者統一メーデー 宣言

本日、私たちは第87回滋賀県労働者統一メーデーを開催した。本日14日以降、熊本県で発生した巨大地震は、継続的かつ広範囲に甚大な損害を与えた。一連の地震災害で尊い命を失われた方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、被害に遭われた方々、避難を余儀なくされた方々にお見舞いを申し上げる。

私たちは自然の驚異と向き合いつつ、お互いが力を合わせ、支え合い助け合い生きていかなければならない。あの東日本大震災から5年が経過した今も、心の苦しみから抜け出せない被災者の方々の存在を忘れてはならない。私たちは、被災地の復興・創生を引き続き全力で支えていくとともに、震災を決して風化させないよう、被災地はもとより、全国の仲間と連携した取り組みを継続・強化していく。

メーデーは労働者の国際連帯の日である。私たちは、国際労働組合総連合(I T U C)と連携し、戦争や紛争、テロなど世界平和を脅かす要因ともなる、貧困や飢餓、環境破壊や人権侵害の撲滅に立ち向かい、すべての人々にディーセント・ワークを実現していかなければならない。そのためにも、本年開催されるG7伊勢志摩サミットでは、世界の労働組合の声を結集し、「不平等を是正」「人への投資とディーセント・ワークの創出」「ジェンダー平等」「雇用に配慮した循環型社会への

移行」を訴えていく。一方、国内においては、働き方や性別、地域の違いなどによる格差の是正や低所得、将来不安の原因とする長期デフレからの脱却が喫緊の課題である。これら課題を克服し、経済の好循環を実現させるために、2016年春季生活闘争を通じたすべての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」の実現を図る。

加えて、雇用、労働、福祉など政策制度の実現を通じた雇用の安定と質の向上や、子育て、医療、介護などの社会的セーフティネットの拡大・強化による将来不安の解消、さらには労働組合づくりを通じた集団的労使関係の拡大を進めなければならない。

今こそ、暮らしの底上げが必要である。パートや派遣、有期などで働く非正規労働者や中小・地場企業で働く労働者、未組織労働者と手を携え、すべての働く者・生活者を代表し、志を同じくする関係団体やNPO・NGOとの連携を深め、「働く人が報われる社会」「一人ひとりが主役の社会」をつくらう!

2016年4月29日
第87回滋賀県労働者統一メーデー中央集会

全ての働く者の処遇改善を目指して 「職場から始めよう運動」学習会を開催!!

5月16日(月)連合滋賀非正規労働センター主催の「職場から始めよう運動学習会」を開催しました。この運動は正規社員・非正規社員の枠を超え、すべての働く者の処遇改善に取り組み、また非正規社員の組織化を進めていこうという運動です。

最初に連合本部の杉山次長から、非正規労働者のおかれている状況や職場から始めよう運動の必要性について講演をいただきました。続いて連合滋賀加盟の自治労とJP労組より、非正規労働者に対する取り組みが紹介されました。自治労の川村組織拡大専門員からは非正規労働者を組織化するには同じ職場にいる正規社員の理解・協力が必要不可欠であることなどが述べられました。JP労組の比嘉副議長からは、やむをえず非正規雇用として働いておられる、いわゆる「不本意非正規労働者」の割合が増えている状況や、それも踏まえて非正規労働者の処遇改善に早くから取り組んでいることなどが紹介されました。その後のグループディスカッションによって、それぞれの組織の状況や課題点などの情報共有を行いました。



非正規労働者の状況を説明する連合本部杉山次長

連合滋賀では全ての働く者の処遇改善のためにこれからも「職場から始めよう運動」を推進していきます。

学生に働くこととワークルールの大切さを知ってもらおう! 滋賀大学寄付講座

連合滋賀と滋賀大学経済学部は、相互に協力して、現下の労働や雇用等の情勢を把握し、働くことの意識や働く上での具体的な課題の認識、更にはワークルールの重要性などについての見識を深めることを目的として、滋賀大学の科目として「政策経済論特殊講義(働くこととワークルール)」を2014年に開設し、取り組んでいます。

2016年度の滋賀大学寄付講座は全15回から構成しており、連合滋賀の副会長等が講師となっており、毎回異なる講義テーマを設けて約100人の学生の前で講義を行います。労働組合の存在や労働運動とは何なのか、労働者はどのような権利をもっているのか、社会のなかでどのような位置づけられているのかなどあらゆる観点から講義を行い、第8回(6月2日)と第15回(7月21日)には受講生との意見交換会も予定されています。

第5講義 「非正規労働者の実態と処遇改善について」 連合滋賀副会長 中島 徹 (UAゼンセン)

5月12日(木)中島副会長より「非正規労働者の実態と処遇改善について」をテーマに講義がされました。

講義では、リーマンショック以降非正規労働者がどの産業でも増加していることについて触れられ、1980年代には約20%だった非正規労働者が現在では倍の約40%と、今や3人に1人は非正規労働者であることや、実際に非正規労働者と正社員とではどういった処遇の差があるのかを図表を用いて説明されました。

そして、連合は正規・非正規労働者を問わず全ての働く者の処遇改善に取り組んでいくことが職場の活性化や企業の利益に繋がると考え、非正規労働者の組織化に取り組んでいることが述べられました。

講義中は真剣に聞く学生の姿が見られ、講義の最後の質疑応答の時間では鋭い質問が寄せられるなど学生の講義への関心の高さが伺えました。



飢餓で苦しむ人たちに、みんなでつくったお米を送ろう! アジア・アフリカ支援米田植え作業

アジア・アフリカ支援米滋賀県実行委員会(「連合滋賀」と「食とみどり・水を守る滋賀県会議」で構成)では毎年、減反田を利用して飢餓に苦しむアフリカの人々へ、お米を送る運動をしています。

5月14日(土)晴天の青空の下、今年は35名の参加者が大人も子どもと一緒に泥んこになりながら、昔ながらの手作業による田植えを行いました。

土曜日ということもあり、子ども連れの参加も多く、お米をつくる大変さを知ってもらうことで「食」の大切さについて親子で考えてもらう機会にもなればと考えています。

予定していた2時間の作業で無事、田植えを終え、後は収穫まで私たちが植えた苗を田んぼの持ち主の方が大切に育ててくださることに感謝しながら、元気に実ってくれることを願うばかりです。

秋の収穫(稲刈り)の際にも、田植えにご協力くださった皆様のみならず、多くのボランティアの方々のご協力をお待ちしています。



手作業による田植えをする参加者(場所:大津市仰木)

6月は男女平等月間 標語・川柳 大募集!

連合滋賀は「連合滋賀第4次男女平等参画推進計画」を立て、男女平等社会の実現に向け取り組みを推進しています。

男女平等への意識は高まってはいるものの、その歩みは遅々としたものであり、未だ道半ばにあります。そこで、6月の男女平等月間に合わせ、個人そして組織における意識の向上活動の一環として「標語・川柳」を募集します。みなさんの思いを標語・川柳にのせてください!

昨年の優秀作品

- ◇分かち合う 仕事も家事も幸せも
- ◇格差あり 是正なしでは 未来なし
- ◇認め合い ありがとうの 合い言葉

募集要項

募集期間: 6月1日(水)から8月31日(水)まで
 募集内容: 「男女平等」「女性参画」「均等待遇」「ワーク・ライフ・バランス」「格差是正」「セクシュアルハラスメント」「マタニティハラスメント」等を題材としたもの
 応募方法: お名前、所属組織を作品に添えて連合滋賀へ直接FAX・MAIL、または、構成組織・単組支部を通じてお送りください。
 【連合滋賀 Fax: 077-523-5600 Mail: info@shiga.jtuc-rengo.jp】
 選考: 男女平等推進委員会および女性・青年委員会にて審査のうえ、最優秀作品1点、優秀作品2点を決定。優秀作品には、粗品を進呈いたします。

被災地・被災者救済のために 熊本を中心とする九州地震災害支援カンパご協力をお願い

【支援カンパ振込先】

振込先: 近畿労働金庫大津支店
 普通口座 7675125
 口座名: 連合滋賀九州地震カンパ

※振込手数料…近畿労働金庫・各支店窓口でお振込みの場合は免除されます。(注: 振込名の前に「義援金」と記載ください。ATMによるお振込みは、免除されません。)

※カンパの用途については、別途ご報告いたします。

4月14日、熊本県を震源とする大地震が発生しました。一連の地震による被害は、熊本・大分両県をはじめ九州各地に及んでおり、家屋の倒壊や土砂崩れなどにより、多数の死傷者がでています。

また、水道、エネルギー、交通機関など生活インフラにも大きな被害と影響が出ており、今なお10万人を超える方が避難生活を余儀なくされています。

このような状況を踏まえ、連合滋賀は緊急の対応として「熊本県を中心とする九州地震支援カンパ」を募ることいたしました。

ご協力よろしくお願いたします。